

第1回 学校活性化協議会 議事概要

日 時	令和2年7月6日(月) 15:00~17:00
場 所	三重県立飯南高等学校会議室
出席者 (敬称略)	土方 清裕(三重県立飯南高校 校長)、 中村 誠(三重県立飯南高等学校PTA 会長)、 村田 佳之(松阪市教育委員会 次長)、 榊原 典子(飯南地域振興局 局長)、 高木 達彦(飯高地域振興局 局長)、 中林 穰太(松阪市西部教育事務所 所長)、 中野 孝是(粥見住民協議会 会長代理)、 中村 元亮(松阪市立飯南中学校 校長)、 森井 義和(松阪市立飯南中学校 校長)、 藤本 伸一(松阪市立中部中学校 校長)、 山際 健太郎(松阪市立東部中学校 教諭)、高橋 克良(同窓会長・応援団長)、 津村 尚美(三重県教育委員会教育政策課 主幹)
議 事	(1) 3年間(平成29年度~令和元年度)の活性化の総括 (2) 令和2・3年度の活性化の方向性について (3) 令和2年度飯南高等学校活性化プランについて (4) 「地域との協働による高等学校教育改革推進事業(地域魅力化型)」について (5) 保護者の転住を伴わない県外からの入学志願制度について (6) コミュニティ・スクールについて (7) その他
主な議事概要	<p>(1) 3年間(平成29年度~令和元年度)の活性化の総括</p> <p>本校では、平成29年度に発足した飯南高校活性化協議会に係り、飯南高校活性化プランを立て、学校の魅力を向上させるべく、地域と一体となった取組を進めてきました。平成31年度(令和元年度)には文部科学省「地域との協働による高等学校教育改革推進事業(地域魅力化型)」に採択され、その取組を一層強化してきました。</p> <p>これらの取組は地域や中学校にも少しずつ評価され、連携中学校から本校に入学した生徒数は、15/59人(25.4%、平成29年度)、16/55人(29.0%、平成30年度)、19/56人(34.0%、令和元年度)と、平成29年度の最小から回復傾向にあります。</p> <p>しかしながら、松阪地区の令和3年3月の中学校卒業生数は、令和2年比130人減と予想されるなど、厳しい状況にあります。</p> <p>ここで、3年間の成果と課題を総括し、成果をしっかりとPRしていくとともに、課題をふまえた改善・改革を図りながら、引き続き飯南高等学校の活性化の取組を推進し、地域の子どもや保護者にとって魅力ある学校となるよう努めていきます。</p> <p>(2) 令和2・3年度の活性化の方向性について</p> <p><活性化の方向性1> 総合学科独自のキャリア教育を柱に、探究活動に一層注力することで、「生きる力」(対話力・追究力・創造力・発信力)を身につけさせ、地域社会において主体的、協働的に活躍できる力を育成する。</p> <p><活性化の方向性2> 幅広い学力層の生徒の進学希望や就職希望の実現を目指し、基礎学力の定着・向上を柱に、3年間を見通した組織的な指導、個に応じた指導の充実を図る。</p> <p><活性化の方向性3> 中学生が進学したい、保護者が進学させたい学校として選ばれるよう、地域との連携、小中学校との交流を深める中で、地域の学校としての価値を創造する。</p> <p>(3) 令和2年度飯南高等学校活性化プランについて</p> <p><活性化の方向性1></p> <ol style="list-style-type: none"> 1 「いいなんゼミ」の充実【改善】 2 「産業社会と人間」の充実【改善】

- 3 系列の授業における探究活動・または「本気の大人」との出会い【改善】
- 4 オンラインの活用推進【改革】
- 5 探究活動の評価の研究【改善】

＜活性化の方向性2＞

- 1 全国規模で見た、生徒の基礎学力を測定するためのツールの活用研究【改善】
- 2 授業力向上のための職員研修の実施【改善】
- 3 3年間を見通した進学指導計画の見直し、整備【改善】
- 4 保育、看護等、目標が明確な進学希望者への指導強化【改善】
- 5 進学塾との連携や地域おこし協力隊（民間講師）等による公設塾の設置検討
[地域振興局]
- 6 CIRを活用した国際交流や外国語学習の充実 [地域振興局]

＜活性化の方向性3＞

- 1 地域を舞台にした探究活動の導入【改善】
- 2 コミュニティ・スクールの準備【改革】
- 3 保護者の転住を伴わない県外からの入学志願制度の実施【改革】
- 4 県内外への積極的PR【改善】
- 5 三重交通への増便やダイヤ改正等の働きかけ [地域振興局]
- 6 飯高管内における市スクールバスの有効活用についての検討 [地域振興局]
- 7 飯高管内小規模特認校（飯高中、香肌小、宮前小）制度の積極的PR [松阪市教委]
- 8 在校生、連携中生、連携中保護者対象のアンケート調査 [地域振興局]
- 9 「応援団」の募集 [同窓会]

（４）「地域との協働による高等学校教育改革推進事業（地域魅力化型）」について

「地域との協働による高等学校教育改革推進事業（地域魅力化型）」計画書より
研究開発名

『チームいいなん』の挑戦～未来を切り拓く“地域に根ざした人材”育成～

取り組み内容・目的

地域が抱えている諸課題の解決や持続可能な社会の実現に向けて、地域を学び場とした地域課題解決型のキャリア教育の実践を通じて、自ら考え挑戦したり、多様な価値観を持つ人々と対話・協働したりしながら、地域への愛着を持って、地域に貢献し、地域の未来を切り拓くことのできる、地域に根ざした人材を育成することを目的とする。

＜地域に根ざした人材に必要な資質・能力＞

- ①地域に飛び出し、地域住民や職業人等、様々な立場の人々、世代を越えた人々の考えを聴き取り共感しながら、コミュニケーションできる力【対話力】
- ②地域の伝統文化や産業、魅力等について調べたり体験したりすることを通じて、課題や改善点を把握・整理する力【追究力】
- ③自らの技術を磨き、他者とかわり合いながら、仮説を立て、地域課題の解決に向けた取組や活動を創造する力【創造力】
- ④地域課題を解決するための具体的な提案や活動等を効果的に発信する力【発信力】

（５）保護者の転住を伴わない県外からの入学志願制度について

- 1 県外募集を開始する。
- 2 「地域みらい留学」に参加し、飯南高校をPRする。
- 3 「三重県立飯南高等学校下宿運営連絡会」を設置し、下宿先の確保、下宿の円滑な運営を図る。

（６）コミュニティ・スクールについて

- 1 中高一貫教育を包括するコミュニティ・スクールの在り方について研究する。
- 2 コミュニティ・スクールの組織、規約を策定する。